

— 広 告 —

KIT
キャンパス
レポート



田中 祐貴 (たなか ゆうき)
金沢工業大学大学院工学研究科
システム設計工学専攻
博士前期課程一年
石川県立野々市明倫高等学校出身

心理学という専門を活かした データサイエンティストになりたい。

心理学は「心の科学」といわれるが、哲学をルーツとするため入口が文系の大学もまだ多い。臨床心理士に興味を持った田中さんは理系でも受験可能な大学を探して金沢工大の心理情報学科を選んだ。親からは、生活費のかかる県外の国立より就職に強い大学がいいと。地元の高校生には課題の多い大学で有名だったという。

「数学は問題なかったんですが、専門科目は覚えることが多くて。だから資料や授業のルーズリーフをクリアファイルに入れて、いつでもどこでも勉強できるように。そして学科のプロジェクトに入って情報やデータ分析が面白くなってきて、ビジネスコンテストやキャリアインカレに参加することに。そのころコーオプ教育の話を知り

て、大学院進学を決めました。」

田中さんは二〇二〇年度から始まった「KITコーオプ教育プログラム」の一期生である。データサイエンティスト養成に向けてNTT西日本グループとの産学協同で開始。第一線で活躍する技術者の講義を三ヶ月受講した中から二名が選ばれ、四ヶ月間、実際の業務に従事する。単位が付与され、給与も企業から支払われる。

「就活を気にせずできたのが良かったですね。講義はすごく面白く、興味のあるスライドが沢山ありました。就業では緊張した濃い時間を経験しました。大学とはちがって企業の生のデータを扱うし、チームワークの重要性も知りました。また休憩時には何を勉強すればいいか聞いて回り、論理的思考力やプレゼン力など、大学院で習得すべきこともわかりました。」

一方で卒業研究にも取り組んでいた。テーマは「専門性の有無が

踊りの評価構造に与える影響」で、日本舞踊の動画を家元の評価によって解析・数字化、さらに評価軸を言語化する。大阪在住の家元にはコロナで会うことができずに苦労した。情報工学科、ロボティクス学科など複数の学科が参加するクラスター研究室で、最終的には自動採点機を作るのだという。

「指導教授の伊丸岡俊秀先生は認知心理学・認知神経科学が専門で、とても面倒見がいいんです。メールもこまめに返してくれますし、大学に行けない間も土日にZoomで相談ののってくれました。これからはじっくり対面で話すことができればいいなと思っています。」
院での課題を見つけた田中さんの充実した時間が想像できる。心理学を活かしたデータサイエンティストという目標があるのだから。

金沢工業大学
石川県野々市市扇が丘七二
電話番号(076)248-1100